

## EMAK 第8回ワークショップ開催

### 【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、経済産業省の2016年度委託事業の一環として、EMAK (Energy Management Action Network) のワークショップを以下の通り、インドネシアジャカルタにおいて開催した。

- (1) 目的：省エネ関係者間のネットワーク形成に貢献しうる、各種省エネ表彰制度の特長に関する意見交換（直近の受賞事例の紹介含む）
- (2) 内容：日本・インドネシア・アセアン・世界をベースとした各省エネ表彰制度の特長に関する意見交換と、インドネシアの関係者にとって有効と考えられる建築・産業分野の省エネ優秀事例を各制度の受賞例の中から選考し、それぞれの内容について情報共有を図った。
- (3) 成果：各種の表彰制度が、EMAKの目的である省エネネットワーク向上に資するプラットフォームとして有効である点に関し、広範な理解を得ることができた。



ワークショップの様子

EMAKはその目的として、①エネルギー管理の優秀事例の共有、②政府関係者及びエネルギー管理従事者間のネットワーク構築を掲げている。ワークショップは第1回目が2010年に開催されてから、今回で8回目を数えたが、テーマの多くは産業界のエネルギー管理に直接関わる課題であり、優秀事例の共有手法自体についてはテーマとして取り上げられてこなかった。

以上を踏まえ、今回は個別課題ではなく、優秀事例の収集と普及を目指すプラットフォームとして運営がなされている、世界各国の省エネ表彰制度を取り上げることとした。それぞれの存在意義、成功要因等に関する意見交換を行い、相互啓発によるそれぞれの更なる発展を目指すことを目的としたのである。

米国をリーダーとする Energy Management Leadership Award と、中豪をリーダーとするトップテンからは、参加が得られなかったが、省エネ事例の表彰制度で先行する日本・インドネシア・アセアンを中心に、各制度の運営上の工夫点、成功要因等に関し相互理解を深めることができた。

以上